

古道をおそうじませんか。大江山・古道普請体験モニターツアー 募集開始！ 和泉式部ゆかりの伝説の道を地域ガイドと歩いて、守ろう！

10月31日(土)開催 歴史の道百選にも選ばれた古道の貴重な修復体験

「大江山 いくのの道の遠ければ まだふみもみず 天橋立」の百人一首で知られる大江山。平安時代の歌人：和泉式部が丹後へ下る際に歩いたといわれる古道「元普甲道」、また、江戸時代に参勤交代で使われていた「普甲道（宮津街道）」。

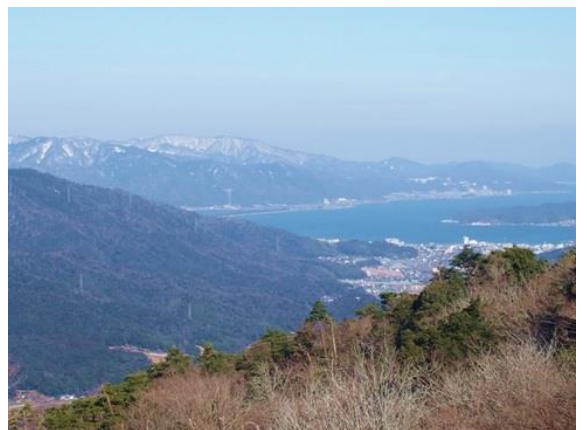
こうした、歴史を感じられる石畳の古道を復元し、後世へ引き継ぐため、上宮津・杉山エコガイドの会では、10月31日(土)に、大江山で開催する環境保全トレッキング参加者を募集します。

地域ガイドのお話を聞きながら、古道の普請復元作業とトレッキング体験ができます。秋の紅葉が広がる大江山での体験型の歴史復元ツアーに多くの方がご参加いただけますよう広くご周知をお願いします。

イベント概要

古道普請体験モニターツアー

- 【日時】令和2年10月31日（土） 10時～15時30分
- 【場所】大江山（古道（元普甲道、今普甲道））
- 【集合場所】旧大江山スキー場（京都府宮津市小田413） 駐車場あり
- 【参加費】2,500円（昼食代、保険料込）
- 【持ち物】運動しやすい服装、靴、軍手、飲み物
- 【定員】30名（最小催行人員5名）
- 【内容】和泉式部や参勤交代の足跡を追いつつ、歴史の舞台となった古道の道普請（復元作業）を行います。
- 【申込】海の京都DMOツアーセンター（電話受付：平日 9時～17時）
[TEL:0772-68-1355](tel:0772-68-1355)
申込期限：10月23日（金） ※先着順
- 【HP】<https://www.uminokyoto.jp/feature/>
- 【昼食】地元米を使ったおむすび弁当



《申込受付・お問い合わせ》

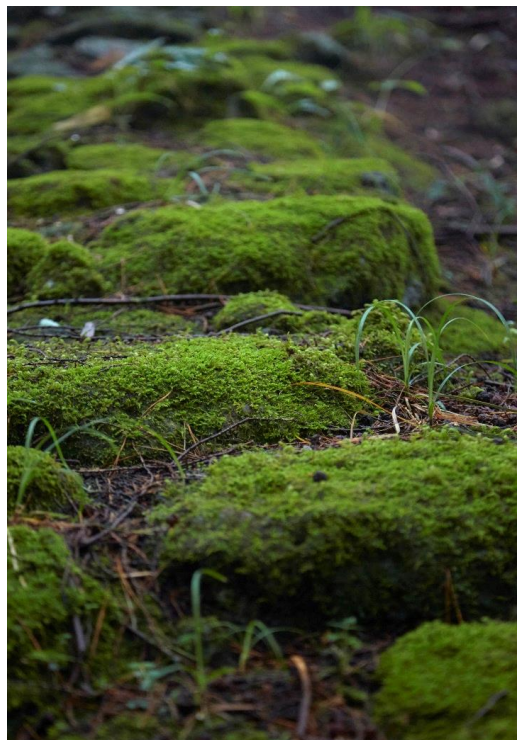
海の京都 DMO ツアーセンター TEL:0772-68-1355
E-mail:tour@uminokyoto.jp

他にも大江山連峰トレイルでは古道を体感するツアー・イベントが満載！

石畳ののこる古道ウォーク

イベント概要

- 【日時】 令和2年10月18日（土） 9時30～15時
- 【場所】 大江山（古道（元普甲道、茶屋ヶ成））
- 【集合場所】 金山公民館 駐車場あり
- 【参加費】 無料！！（今回のみ！！）
- 【持ち物】 運動しやすい服装、靴、飲み物、昼食
- 【内容】 和泉式部の足跡を追いつつ、地域が協力してつくった天橋立のみえる東屋の完成を祝いましょう。団子のふるまいあり
- 【申込】 上宮津地域公民館（電話受付：平日 9時～17時）
[TEL:0772-22-2415](tel:0772-22-2415)
申込期限：10月15日（金） ※先着順
- 【HP】 <https://www.uminokyoto.jp/event/detail.php?eid=257>



宮津街道おじさん×鬼博 てくてくウォーキング

- 【場所】 大江山（古道（宮津街道、日本の鬼の交流博物館））
- 【集合場所】 京都丹後鉄道 大江駅
- 【体験料金】 4500円（ガイド代、昼食代、日本の鬼の交流博物館入館料込み
現地までのバス料金400円は参加者個人でご負担）
- 【持ち物】 運動しやすい服装、靴、飲み物、昼食
- 【内容】 鬼伝説で超有名、ミステリアスな大江山の福知山側（大江町）に残る参勤交代の道、「宮津街道石畳の道」の名所をのんびり巡るハイキングです。地元住民がガイド役を務めます。日本の鬼交流博物館の入館料と昼食付き。
- 【申込】 海の京都DMOツアーセンター（電話受付：平日 9時～17時）
[TEL:0772-68-1355](tel:0772-68-1355)
- 【HP】 <https://www.uminokyoto.jp/experience/detail.php?exid=220>



【大江山連峰について】

大江山は丹後・丹波の国境にそびえる当地方きっての名山です。大江山を記した古書も数多くあり、『丹後国風土記残缺』、『西北紀行』（貝原益軒）、『秋山の記』（上田秋成）などが代表的なものです。こういった古書には「与謝ノ大山」「与謝大山」「大山」「大江山」「千丈嶽」「御嶽」などと書かれていますが、江戸時代の『西北紀行』や『秋山の記』では「大江山」となっています。この山には三つの伝説があります。一つは崇神天皇の弟にあたる日子坐王（ひこいませのきみ）の土蜘蛛退治伝説であり、もう一つは用明天皇の第三皇子麻呂子親王の鬼退治伝説であり、残り一つは御伽草子「酒吞童子」で知られる源頼光の鬼退治伝説です。これらの伝説にまつわる伝承地は今でも数多く残されています。

【和泉式部と大江山について】

和泉式部（天元元年（978年）頃・没年不詳）平安時代中期の歌人。越前守・大江雅致の娘。中古三十六歌仙、女房三十六歌仙の一人。小式部内侍は娘。

一条天皇の中宮・藤原彰子に女房として出仕。長和2年（1013年）頃、主人・彰子の父・藤原道長の家司で武勇をもって知られた藤原保昌と再婚し夫の任国・丹後に下った。

【歌番号 60】小式部内侍（和泉式部の娘）

「大江山 いく野の道の遠ければ まだふみも見ず天橋立」

【歌番号 56 番】和泉式部

「あらざらむ この世の外の思ひ出に 今ひとたびの逢ふこともがな」

【丹後の歴史と今普甲道（宮津街道）について】

室町時代は山名氏のちに一色氏が守護として治めていた。戦国時代、織田信長の命を受けた細川忠興、明智光秀らの攻勢により、一色氏は降伏。細川忠興とその父は丹後を治めることとなった。江戸時代に入り、細川氏は九州に移封。関ヶ原の戦いで功を挙げた京極高知が治める。没後は宮津藩（宮津市）、田辺藩（舞鶴市）、峰山藩（京丹後市）に分かれ、嫡男の京極高広が宮津藩を治める。

宮津藩主京極高広（1599～1677）の時代に、元普甲道から分かれる今普甲道が整備され、途中には茶屋が設けられた他、番所跡と思われる小字新兵衛屋敷、茶屋の跡などが存する。この際、伝承では「普甲道」の名称が「不幸」に通じるなどとして「千歳峰」と命名され、碑文等が残る。今でも一部には石畳が残っており、参勤交代で使用されていた往時を偲ぶ。他にも道の途中には廻国供養塔がある他、宮津側の集落は宿場としても整備されたと考えられる。また、慶応2年（1866）に宮津藩によって設置されたと伝わる（「宮津旧記」）関所「胸壁」は、現在も枅形虎口や礎石などの遺構が残存する。

【大江山連峰トレイル】

赤石ヶ岳、千丈ヶ嶽、鳩ヶ峰、鍋塚の4山からなる大江山連峰の縦走路と、赤岩山から宇野ヶ岳、杉山を經由して普甲峠へ至る縦走路を合わせた全長約16kmのルートと、その両端の山の名前をとり「赤赤縦走路」と呼ぶ。標高は千丈ヶ嶽の832mが最高でアップダウンも緩やか、さらにほとんどのルートが整備されているため登山初心者でも歩きやすい。2007年には丹後天橋立大江山国定公園にも指定されている。

【丹後天橋立大江山国定公園について】

平成19年6月29日に指定。新規指定としては17年ぶりであり、初の京都府の地域名称を冠した「丹後天橋立大江山国定公園」が平成19年8月3日に誕生しました。丹後半島の「海岸」、その背後にある「高原」、大江山連峰の「山容」と変化に富んだ表情豊かな公園です。当指定地域は、日本三景の天橋立そして、丹後王国さらには、大江山の鬼伝説など歴史や文化にも彩られています。大江山地域の見所としては連峰はもちろん、吊り橋からの眺めが素晴らしい二瀬川溪谷、日本の棚田百選に選ばれた毛原の棚田などが挙げられます。

【明智光秀首塚伝説が残る盛林寺について】

盛林寺は、上宮津城主、小倉播磨守の菩提寺として1577年に宮津大久保谷に創建された。開山は趙室宗栢和尚、それを助けた小倉氏は、丹後守護一色家の重臣であった。小倉氏は、1578年10月、細川氏に敗れて滅んだ。細川氏は1580年8月、丹後の大名として入国、宮津城をつくった。盛林寺はその庇護を受けた。

盛林寺が大久保谷から上宮津に写ったのは、1603年で、場所は現在地の南に接する「寺谷」であった。当時細川氏は九州中津（大分県）に移った後であった。さらに現在地に移ったのは、1685年であった。寺地は、山懐に包まれた景勝地で、地方の歴史を語る風物や文化財に恵まれている。

寺の裏手には明智光秀のものとされる首塚が残っており、光秀が山崎合戦に敗れて殺されたのち、光秀の子であるガラシャ夫人、細川忠興の妻の元である宮津に届けられて、この寺で供養を受けたという言い伝えが残る。（盛林寺 参拝のしおりより）

西日本の都道府県初！京都府では登山アプリ「YAMAP(ヤマップ)」でトレイルの情報発信をしています！

- ★大江山、綾部のトレイルコース地図が無料で利用できます。
- ★携帯電波が無くても位置情報を確認できます！
- ★「京都縦貫トレイル」公式アカウントから、イベント情報、トレイルの安心安全情報をお届け！



京都縦貫トレイル公式アカウント画面



ヤマップ地図画面（大江山連峰トレイル）

（参考）YAMAP とは

登山やアウトドアに関心のあるユーザー層を中心に累計122万ダウンロード（平成31年3月現在）を誇る人気アプリ。電波の届きにくい山中でもルートや標高を記録できるGPS機能が搭載されており、トレッキングの記録を残すことができる。また、トレッキング中に記録した情報は、撮影した写真やコメントとともに「活動日記」として共有できるソーシャルメディア的な機能を有する。さらに、電波の届かない山の中でもスマホのGPSで自分の位置を確認することができ、登山の記録も残すことができることから、遭難防止など安心・安全に繋がる効果も注目を集めている。

安全にトレッキングを楽しむために

— 京都府でも、年間 49 名の方が遭難しています（平成 30 年） —

☆遭難を防ぐ3つの方法

①体力の低下を考えた計画・トレッキングを

- ・「60歳の体力は、20歳の時の約6割」を踏まえた計画を
- ・無理にゴールを目指さない

②山道から外れない

- ・遭難者の7割以上が、山道から外れたことによる遭難です。
- ・地図アプリを活用しましょう。
- 地図・コンパス・スマートフォン等を携帯しましょう。

③登山計画書をつくろう

- ・山道の下調べはOKですか？持ち物は万全ですか？
- 登山計画書をつくと必要な準備がわかり、遭難防止につながります。

京都府警インターネット登山計画書提出システム

<http://www.pref.kyoto.jp/fukei/anzen/tiiki/sangaku/>